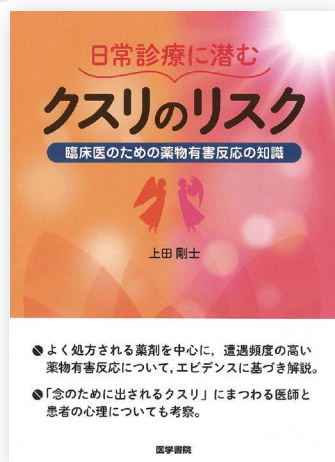


今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1027) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



日常診療に潜むクスリのリスク

臨床医のための薬物有害反応の知識

上田剛士＝著

本体 2,800 円＋税／A5 判・164 頁／医学書院／2017

連載「I Love Urinalysis」(p.984) が好評の上田剛士先生による「薬」の本。
昨年度の本誌好評連載に加筆し、1冊にまとめました！

市販されている薬剤は実にたくさんあるが、一般臨床医がよく遭遇する薬剤と薬物有害反応の組み合わせには決まりがある。本書では、頻度の高い「薬物有害反応」を取り上げ、特によく処方される薬剤を中心に「エビデンス」に基づいてわかりやすく解説。また、薬物有害反応を頭では理解していても、医師や患者が“念のためのクスリ”を求めることは稀ではないことから、薬物有害反応が減らない理由を心理学的な観点からも取り上げた。



治療薬マニュアル 2018

高久史磨、矢崎義雄＝監修

北原光夫、上野文昭、越前宏俊＝編

本体 5,000 円＋税／B6 判・2752 頁／医学書院／2018

ハンディサイズ本では唯一「使用上の注意」をすべて収録。添付文書に記載された情報をわかりやすく整理し、各領域の専門医による臨床解説を追加した。収録薬剤数は約 2,300 成分・18,000 品目。2017 年に収載された新薬を含む、ほぼすべての医薬品情報を収載。医薬品レファレンスブックとして、医師・薬剤師・看護師ほかすべての医療職必携の 1 冊。購入時特典电子版付！『今日の治療指針 2018 年版』(デスク判 | ポケット判) とのセット購入により、2冊がリンク。



Pocket Drugs 2018

福井次矢＝監修

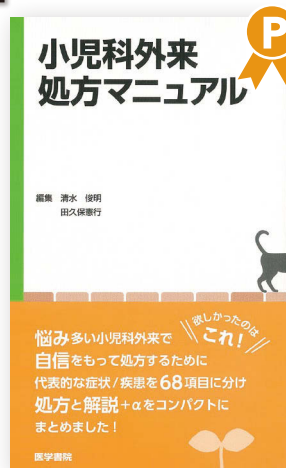
小松康宏、渡邊裕司＝編

本体 4,200 円＋税／A6 判・1088 頁／医学書院／2018

治療薬を薬効ごとに分類し、第一線で活躍の臨床医による「臨床解説」、すぐに役立つ「選び方・使い方」、薬剤選択・使用の「エビデンス」を、コンパクトにまとめた。欲しい情報がすぐに探せるフルカラー印刷で、主要な薬剤は製剤写真も掲載。“臨床現場で本当に必要な情報”だけを集約した 1 冊。2018 年版では、運転注意・休薬・投与期間制限などの情報を追加し、コンパクトサイズのまま、さらに充実！

今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1027) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

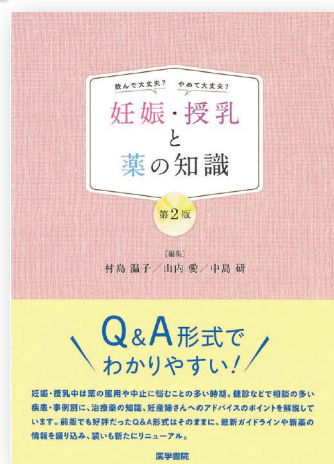


小児科外来処方マニュアル

清水俊明、田久保憲行＝編

本体 3,200 円＋税／B6 変判・240 頁／医学書院／2018

小児科外来で日常的によく遭遇し、かつ治療薬の選択に迷いやすい症状・疾患を厳選。その基本的な注意事項と処方をポケットサイズにまとめた、きわめて実践的なマニュアルが初登場！ いままさに必要な処方の指針として。うっかり忘れやすい知識のリファレンスに。そして、最新知識の効率よい吸収のために。必要な時に知りたい事項をすぐに見ることができる本書は、小児を診るすべての医師にとって、すぐに役立つ＋頼りになる！



飲んで大丈夫？ やめて大丈夫？

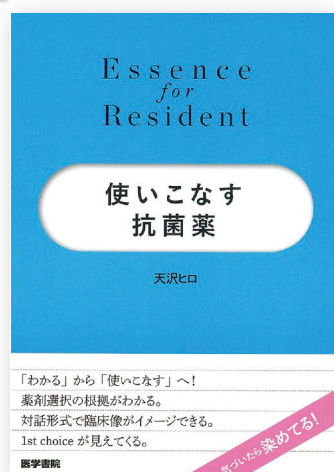
妊娠・授乳と薬の知識

第2版

村島温子、山内愛、中島研＝編

本体 2,200 円＋税／A5 判・192 頁／医学書院／2017

妊娠・授乳中は、薬やサプリメントの使用に不安を抱えることの多い時期。本書は、妊産婦からの質問にどのように対応するとよいかを、Q&A 形式でわかりやすく解説。妊娠期・授乳期に相談の多い嗜好品(カフェインなど)の解説をはじめ、近年増加傾向にある「炎症性腸疾患」についての記述を新たに追加した。最新ガイドラインや添付文書の内容も盛り込んだ好評書。



使いこなす抗菌薬

天沢ヒロ＝著

本体 3,800 円＋税／A5 判・262 頁／医学書院／2017

臨床に出たら必要になる感染症の基本を対話形式で学ぼう！ 絶対に覚えなければならない微生物の特徴や基本薬について、初心者の方「まなぶ君」と一緒に天沢先生からカンファレンスを受けてみませんか？

〈Essence for Resident〉シリーズの姉妹本の『わかる抗菌薬』と合わせて読めば、理解もグッと深くなる。



精神科の薬がわかる本

第3版

姫井昭男＝著

本体 2,000 円＋税／A5 判・236 頁／医学書院／2014

シリーズじゃないのにシリーズみたいな好評書「〇〇の薬がわかる本」を、以下に3冊まとめてご紹介します。

薬に頼り切るのではなく、使うべき時に適切に使うために、そして情報氾濫の時代だからこそ、正しい情報を伝えたい。その思いに貫かれた本書。分野を問わず、新薬への期待は大きく、過剰な期待によって「期待はずれ」の心理も生まれやすい。メンタル障害の治療過程で、正しい知識と効果のイメージを持つために、精神科を専門としない医師をはじめ、「精神科の薬」に対して情報を求める人々に向けた1冊。



糖尿病の薬がわかる本

樹田 出＝著

本体 1,800 円＋税／A5 判・176 頁／医学書院／2015

同じようにみえる患者さん、なぜ処方されている薬が違うの？なぜ、この薬は使わないの？飲み忘れた、服薬量を間違えた時の対応は？そんな糖尿病治療薬にまつわるさまざまな疑問を糖尿病専門医がわかりやすく解説。服薬指導・服薬管理だけでなく、食事をはじめとした生活習慣の改善・指導にも役立つ1冊。糖尿病治療薬の“もやもや”を解決します！



がん疼痛緩和の薬がわかる本

第2版

余宮さのみ＝著

本体 2,200 円＋税／A5 判・280 頁／医学書院／2016

好評を博した初版から、とりあげる薬剤がさらに充実した第2版。がん疼痛緩和の薬の効用や副作用、アセスメント、選択・使用の考え方がわかりやすく解説されている。症例が豊富にあげられているので、より理解が進む。がんの痛みへの理解から、非オピオイド、オピオイド、鎮痛補助薬まで取りあげた、臨床のエッセンス満載の1冊。

今月の特集関連本

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1027) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



がん薬物療法 副作用管理マニュアル

監修 吉村 知哲 田村 和夫
編集 川上 和宜 松尾 宏一 林 稔展
大橋 養賢 小笠原 信敬

重症度の適切な評価、原因薬剤の
中止や減量、支持療法の検討に
役立つ情報をコンパクトに凝縮!

頻度の高い副作用に関して、1) 原因とならざる抗がん
薬、2) 評価のポイント、3) 抗がん薬以外の原因を考慮
すべき疾患・病態、4) 対策、5) 症例——を解説。

医学書院

がん薬物療法 副作用管理マニュアル

吉村知哲、田村和夫＝監修

川上和宜、松尾宏一、林 稔展、大橋養賢、小笠原信敬＝編

本体 3,800 円＋税／B6 変判・314 頁／医学書院／2018

重症度の適切な評価、原因薬剤の中止や減量、支持療法の検討に役立つ情報をコンパクトに凝縮！ 発熱や手足症候群、高血圧など、がん薬物療法時に頻度の高い副作用を対象に、①原因となりうる抗がん薬、②評価のポイント（症状・検査値、問診、重症度）、③抗がん薬以外の原因を考慮すべき疾患・病態、④対策、⑤症例 2 例（抗がん薬の副作用が疑われた症例、それ以外の原因が疑われた症例）のパターンで解説。

PCF5:Palliative Care Formulary Fifth edition
Robert Twycross, Andrew Wilcock, Paul Howard

トワイクロス先生の 緩和ケア処方薬

薬効・薬理と薬の使い方

第2版

監訳
武田文和
鈴木 勉

苦痛な症状を緩和する薬の基本知識
待望の改訂

医学書院

トワイクロス先生の緩和ケア処方薬

薬効・薬理と薬の使い方

第 2 版

Robert Twycross, Andrew Wilcock, Paul Howard＝編

武田文和、鈴木 勉＝監訳

本体 5,500 円＋税／A5 判・928 頁／医学書院／2017

原書は“Palliative Care Formulary 5th edition” (2014 年)。ロバート・トワイクロス博士（オックスフォード大学緩和ケア学講座初代教授）の編集による緩和ケア界の必携書。最新のエビデンスに基づいた改訂版。がんを中心に、他の致死的な疾患を含む緩和ケア薬を網羅した、薬剤情報集と基本知識（オピオイド効力換算比、終末期の薬の投与方法、薬物間相互作用など）の二部構成。新章「かゆみの治療薬」なども追加された。

医療用 麻薬

選べる・使える・説明できる

大津秀一

その疑問
Dr. 大津が答えます

医学書院

Dr. 大津の誰でもわかる医療用麻薬

選べる・使える・説明できる

大津秀一＝著

本体 3,400 円＋税／A5 判・172 頁／医学書院／2017

医療者・患者双方に、まだ誤解の多い医療用麻薬。「患者は医療用麻薬の服用にあたり、どういった心配をするのか」「その際に、どのように患者に説明すればよいのか」「はたして、どの薬剤がいいのか」など、緩和医療・ケアに関わる医師や医療スタッフが臨床上直面する問題に対し、Q&A 方式で平易に回答し、さらには具体的な指示例・処方例に至るまで紹介する。明日からの正しい医療用麻薬治療のために！